

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,200	1,200	1,200	0
事業費計		(千円)	1,200	1,200	1,200	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	706		
事業コスト		(千円)	1,906	1,906		

R02年度当初積算根拠	19負担金補助 02補助金：1,200千円					
-------------	-----------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	10,000	10,000	10,000	0
事業費計		(千円)	10,000	10,000	10,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,412	1,357		
事業コスト		(千円)	11,412	11,357		

R02年度当初積算根拠	19負担金補助及び交付金 02補助金：10,000千円					
-------------	-----------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	186 メディア芸術振興事業									
戦略プラン					担当部課	市民部文化芸術課				
総合戦略	III	1	(4)	文化・芸術の振興	係名	文化振興係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-030110-22 メディア芸術振興に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分	事業期間				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画					事業体制	一部委託			
根拠法令	文化芸術基本法、つくば市文化芸術基本条例				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
最先端の科学技術を駆使した、新たなアートの世界（メディア芸術）を紹介し、科学技術に対する親近感の醸成、新しい芸術表現の可能性を体感・創造し、つくばらしい文化芸術の振興に寄与していく。					<ul style="list-style-type: none"> 市内大学、研究機関等と連携し、2事業を実施する。 つくばメディアアートフェスティバル メディア芸術作品を市民に周知する一環としてつくば美術館にて作品の展示会を行う。 つくばショートムービーコンペティション 10分以内の映像作品を募集し、コンテストを実施する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> メディアアートフェスティバル 令和2年度開催の準備 つくばショートムービーコンペティション 実行委員会の開催（7月、1月、2月） 上映会及び審査会：2月下旬開催予定 					<ul style="list-style-type: none"> メディアアートフェスティバル 令和2年度開催に向け、日程や企画内容の調整を行った。文化庁の「令和2年度文化芸術振興費補助金 文化芸術創造拠点形成事業」に応募した。 つくばショートムービーコンペティション 筑波学院大学等と連携し、2月29日（土）に審査会を実施した。応募作品数：165作品 ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため上映会は中止。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> ショートムービーコンペティション 応募作品数が増加し、定着してきている。 サイエンスハッカソン G20開催を記念して、科学技術振興課と共同で実施 つくばにゆかりのある科学者がアーティストと共同で作品を制作し、さくら民家園にて展示会を実施した。 					<ul style="list-style-type: none"> メディアアートフェスティバル 補助金の申請が通らなかった場合、内容の再検討が必要。 つくばショートムービーコンペティション 新型コロナウイルス感染症予防対策のため上映会は中止となったため、次年度に上映の機会を設ける必要がある。 					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> メディアアートフェスティバル、つくばショートムービーコンペティションともに、内容の調整や国の補助金等の活用を検討していく。 つくばショートムービーコンペティションの前年度入賞作品を上映する機会を計画する。 										
指標の推移										
1	指標名	メディアアート入場者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	0.0	2,880.0	0.0	2,880.0		
	実績	2,315.0	2,162.0	2,538.0	0.0	3,727.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	ショートムービー入場者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	120.0	120.0	120.0	120.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	150.0	120.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,521	745	10,288	0
事業費計		(千円)	5,521	745	10,288	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	180.00	128.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,565	2,436		
事業コスト		(千円)	8,086	3,181		

R02年度当初積算根拠	07報償費 2,388千円 10需用費 723千円 11役務費 754千円 12委託料 5,176千円 13使用料及び賃借料 1,247千円
	メディアアートフェスティバル：9,541千円 ※うち、補助金により1/2の助成を受ける予定 つくばショートムービーコンペティション：747千円

予算の方向性	理由	メディアアートフェスティバルが隔年開催のため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	41	41	41	0
	一般財源	(千円)	86,735	85,261	89,668	0
事業費計		(千円)	86,776	85,302	89,709	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,604	3,466		
事業コスト		(千円)	90,380	88,768		

R02年度当初積算根拠	10需用費：1,800千円					
	12委託料：52,500千円					
	18負担金補助及び交付金：35,409千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	188 つくばカピオ管理運営事業（指定管理者制度）									
戦略プラン					担当部課 係名	市民部文化芸術課 文化振興係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030114-11		つくばカピオ維持管理に要する経費							
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画									
根拠法令	つくばカピオ条例					事業体制	指定管理者			
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>文化・スポーツ活動等の中核施設であるつくばカピオの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図る。</p>					<p>・つくばカピオは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行う。</p> <p>・適切な管理運営及び計画的な修繕を行う。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・月例報告会（毎月1回） ・年次報告会（年1回5月実施） ・トイレ改修工事 ・アリーナ屋根修繕工事 ・中長期修繕計画策定 ・中長期修繕計画に基づき自主点検を実施する 					<ul style="list-style-type: none"> ・施設の貸館業務や維持管理を例年通り実施したほか、自主事業を企画した。 ・新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、2月末より利用料の還付を行った。また、自主事業も中止となった。 ・安全な施設運営を図るため、必要な個所の修繕を行った。 					
成果					課題					
<p>指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理状態を詳細に把握することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には、随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両方で協議のうえ、迅速に対応した。</p>					<p>開館から20年以上経過した施設のため、空調・照明・音響等の設備に経年劣化に伴う不具合が生じているため、計画的な大規模修繕を行っていく必要がある。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<p>指定管理者との意見交換を実施し、利便性の向上を図り、安全な施設運営と維持管理を行う。</p> <p>中長期的な修繕計画に基づき、優先順位や必要性を考慮し、施設の計画的な修繕を行う。また、利用者等の安全確保のため、不具合が発生した設備等についても修繕を行う。</p>										
指標の推移										
1	指標名	施設稼働率（アリーナ）					(%)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	92.0	92.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0		
	実績	92.0	93.0	91.0	94.0	93.0	87.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	16,700	0	0	0
	その他	(千円)	651	662	662	0
	一般財源	(千円)	234,131	248,128	262,555	0
事業費計		(千円)	251,482	248,790	263,217	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,604	3,466		
事業コスト		(千円)	255,086	252,256		

R02年度当初積算根拠	10需用費：5,000千円					
	11役務費：191千円					
	12委託料：118,889千円					
	14工事請負費：6,314千円					
	17備品購入費：792千円					
	18負担金補助及び交付金：43千円					
	22償還金利子及び割引料：131,988千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	189 地域交流センター維持管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	市民部文化芸術課 地域交流支援係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030115-11 地域交流センター維持管理に要する経				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画	地域交流センター基本計画				事業体制	一部委託		
根拠法令	地域交流センター条例				市長公約	77		
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>市民の自主的な活動の促進を図り、豊かで活力ある地域の形成に資するため、様々な講座等を行う市内に17ある交流センターの維持管理と整備を行う。</p>				<p>・市内17地域交流センターの利用者が、土日夜間を含め常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、清掃委託をはじめ各種の契約行為等を実施する。また、老朽箇所等の修繕工事等を行う。 ※行政改革アクションプラン「83 地域交流センター活動団体の情報提供」該当事業</p>				
評価								
事業計画				活動実績				
<p>・大穂交流センター自動火災報知設備修繕、栗原交流センター運動室床修繕、小野川交流センター屋根修繕を行う。 その他交流センターの老朽箇所を修繕する。 ・施設運営委員会、所長会議、担当者会議、専門部会等の会議を定期に開催し、課題の解決を図る。 ・公共施設自主点検マニュアルに基づき、自主点検を実施する。</p>				<p>・9月 栗原交流センター運動室床修繕完了 ・10月 小野川交流センター屋根修繕完了 ・所長会議、担当者会議、専門部会等の会議を定期的で開催した。 ・公共施設自主点検マニュアルに基づき各施設で点検を実施した。 ・市内17地域交流センターの維持管理業務及び修繕工事等を実施した。</p>				
成果				課題				
<p>各施設において計画的な修繕の実施、所長会議や担当者会議で課題を協議することで、利用者に快適な利用環境を提供することができた。</p>				<p>各施設とも老朽化による突発的な不具合の発生が多くなっており、計画的な修繕予算の確保が必要である。</p>				
改善目標（R02年度にむけて）								
<p>中長期的な修繕計画に基づき、優先順位や必要性を考慮し、施設の計画的な修繕を行う。また、利用者等の安全確保のため、不具合が発生した設備等についても修繕を行う。</p>								
指標の推移								
1	指標名	地域交流センター利用人数 (人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0
	実績	472,646.0	472,858.0	454,993.0	503,721.0	492,958.0	511,039.0	0.0
	指標の概要	システムから利用人数抽出（市民研修センター、コミュニティ棟除く。） ※3月予約者（未確定分）含む。						
2	指標名	サークル団体情報提供数 (団体数)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	700.0	700.0	700.0	800.0	800.0
	実績	0.0	0.0	757.0	743.0	739.0	813.0	0.0

指標の概要	交流センター登録団体(同意団体のみ) ※R1年度以降コミュニティ棟含む。 ※行政改革アクションプラン「83 地域交流センター活動団体の情報提供」該当指標							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	19,908	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	24,700	0	0	0
	その他	(千円)	24,660	0	0	0
	一般財源	(千円)	183,659	210,467	211,952	0
事業費計		(千円)	252,927	210,467	211,952	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.20	2.05		
		時間外勤務 (時間)	417.00	495.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	9,504	15,125		
事業コスト		(千円)	262,431	225,592		

R02年度当初積算根拠	10需用費 64,250千円 (光熱水費15センター分44,529千円、修繕料11,101千円ほか)					
	11役務費 6,141千円 (通信運搬費4,130千円ほか)					
	12委託料112,040千円 (清掃・維持管理委託17センター分78,006千円ほか)					
	13使用料 7,405千円 (島名、荃崎交流センター土地賃借料5,502千円ほか)					
	14工事請負費14,905千円 (照明等交換工事6センター分10,868千円ほか)					
	17備品購入費3,696千円 (テーブル等)					
	18負担金3,515千円 (つくばセンタービル共用部分管理分担金)					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3,000	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,637	6,149	6,751	0
事業費計		(千円)	6,637	6,149	6,751	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	11.00	48.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,440	1,476		
事業コスト		(千円)	8,077	7,625		

R02年度当初積算根拠	07報償費	4,467千円 (講師謝礼)
	08旅費	5千円 (普通旅費)
	10需用費	591千円 (消耗品)
	11役務費	249千円 (通信運搬費129千円、講師派遣手数料120千円)
	12委託料	176千円 (講座委託料179千円)
	13使用料及び賃借料	1,263千円 (バス賃借料1,241千円ほか)

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	13,012	0	0	0
	一般財源	(千円)	88,549	117,060	106,020	0
事業費計		(千円)	101,561	117,060	106,020	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	85.00	85.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,623	1,567		
事業コスト		(千円)	103,184	118,627		

R02年度当初積算根拠	10需用費24,530千円 (消耗品2,460千円、燃料費3,396千円、光熱水費15,849千円ほか)					
	11役務費903千円 (通信運搬費193千円、手数料366千円、保険料344千円)					
	12委託料69,770千円 (施設管理委託67,570千円、設計委託2,200千円)					
	13使用料及び賃借料767千円 (土地賃借料689千円ほか)					
	14工事請負費7,726千円 (修繕工事)					
	17備品購入費2,296千円					
	18負担金補助及び交付金28千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	41	0	0	0	
	一般財源	(千円)	64,615	62,463	61,356	0	
事業費計		(千円)	64,656	62,463	61,356	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40			
		時間外勤務 (時間)	62.00	62.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	2,977	2,867			
事業コスト		(千円)	67,633	65,330			

R02年度当初積算根拠	10需用費	1,800千円 (施設修繕料)
	11役務費	149千円 (保険料)
	12委託料	59,407千円 (修繕工事設計委託1,188千円、指定管理委託58,219千円)

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	182 芸術文化公演事業									
戦略プラン	I	3	2	文化芸術の振興	担当部課	市民部文化芸術課				
総合戦略	III	1	(4)	文化・芸術の振興	係名	文化振興係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-030110-15 文化行政に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分	事業期間				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市文化芸術推進基本計画					事業体制	一部委託			
根拠法令	文化芸術基本法 つくば市文化芸術基本条例				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>市民が優れた文化芸術作品等に接する機会の拡充を図り、創造性豊かな潤いある街づくりを目指す。</p> <p>市民の多種多様な文化芸術活動が活発に展開される環境を整備するうえで、活動を担う人材の育成を図る。</p> <p>国際的に著名なアーティストを招聘し、クラシック音楽を中心とした公演を企画することで、優れた音楽公演に接する機会を提供する。</p>					<ul style="list-style-type: none"> つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催という形式により市内の文化施設等を利用し、音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの芸術文化事業を実施する。 芸術性の高いクラシック公演に身近に触れてもらうため、国内有数の音響効果を持つノバホールを会場として、良質なプログラムを厳選して開催する。 その他必要な文化芸術を行う。 					
評価										
事業計画					活動実績					
令和元年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…27事業 ・内訳…音楽：12公演、演劇・伝統芸能：7公演、舞踊：2公演、参加・体験型：4公演、美術：2企画 ・開催時期…6月から3月まで					<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度つくば市芸術文化事業 事業数…26事業 ・入場者合計：17,521人 ノバホール開催：16事業…9,082人入場 つくばカピオ：4事業…2,087人入場 その他会場開催：6事業…6,352人入場 ※新型コロナウイルス予防対策のため、3月開催の3事業が中止となった。					
成果					課題					
国際的に著名なアーティスト等による音楽公演をはじめ、話題の講談師を招へいするなど、多様なジャンルの公演を行った。また、「つくば文化芸術振推進本計画」で新たに追加された項目である「文化芸術による障害者等の生活の質の向上」を実践する取り組みとして、手話通訳等を配置したバリアフリーの演劇公演を企画した。					公演・プログラムの選定にあたっては、限られた予算の中で多様な質の高い公演等の紹介をしなければならないため、広報等の周知を幅広く行い、入場率を上げる必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
市民ニーズを把握するとともに、芸術性の高いバランスのとれた公演を企画する。また、事業のPRを広範囲に行い、インターネット予約をさらに普及させる。										
指標の推移										
1	指標名	入場率（芸術文化公演事業）					（ % ）		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	77.0	77.0	77.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
	実績	69.0	81.5	65.0	74.0	81.9	63.8	0.0		
	指標の概要									
2	指標名									
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	45,709	45,594	45,880	0
事業費計		(千円)	45,709	45,594	45,880	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	200.00	128.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,732	4,385		
事業コスト		(千円)	50,441	49,979		

R02年度当初積算根拠	01報酬：520千円 07報償費：2千円 08旅費：155千円 10需用費：110千円 11役務費：93千円 18負担金及び交付金 01負担金：45,000千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,129	10,666	11,785	0
事業費計		(千円)	11,129	10,666	11,785	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.80		
		時間外勤務 (時間)	280.00	147.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	6,341	5,789		
事業コスト		(千円)	17,470	16,455		

R02年度当初積算根拠	07報償費：72千円					
	11需用費：2,062千円					
	12役務費：206千円					
	13委託料：8,249千円					
	14使用料及び賃借料：196千円					
	19負担金補助及び交付金：1,000千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		